



明るく、仲良く、元気よく！

福島フットボールクラブスポーツ少年団

今回は、福島フットボールクラブスポーツ少年団を代表して、監督兼コーチの吉澤 裕治さん（後列右から1番目）、キャプテンを務める福島小学校6年の松谷 一樹さん（後列左から2番目）、副キャプテンを務める吉岡小学校6年の新山 優里花さん（中列左から1番目）を取材させていただきました。

同少年団は小学1年生から6年生までの男女26名で活動しており、取材当日も子どもたちは仲良く楽しんでいました。



▲ボールのキック方法を教える
吉澤さんと子どもたち

を始めることを決めました。

そこで、「もっと子どもたちにサッカーやフットサルに触れてもらいたい」という思いから、学生時代の経験を活かし、私自身が指導者として「福島フットボールクラブスポーツ少年団」

を始めました。

私自身もサッカーが好きで、学生時代も部活動などに入っていました。指導者を含め、サッカーを楽しむ人は当時から少ないように感じていました。

平成12年4月から活動しています。

◆吉澤さん

問1. 活動を始めたのはいつですか？

●フットサルって何？
室内で行うサッカーで、コートやゴールは屋外サッカーと比べて少し小さく、1チーム5人で試合を行うスポーツです。

問2. 普段の活動内容を教えてください！

◆吉澤さん

毎週金曜日に総合体育館へ集まり、17時45分から19時までの約1時間活動しています。準備運動と基本練習の後、低学年（1年生～3年生）と高学年（4年生～6年生）に分かれ、試合形式のゲームを行います。当日の参加人数が少ない時は、高学年のチームにハンデをつけて、全員で練習を行います。夏は休日にも集まり、新緑公園にあるフットサル場で活動しています。

また、練習試合だけでなく、西南4町の合同で行う大会にも参加しています。他町の少年団との試合を通して町内外での交流を深めるとともに、大人数での試合を楽しんでいます。

子どもたちが楽しんでいる姿を見てみると、私もとても嬉しくなります。子どもたちとふれ合う時間が、私にとって何よりも楽しい時間です。